

家族と地域のちからを神戸の未来へ

Think globally
Act locally



神戸市会議員

平木ひろみ

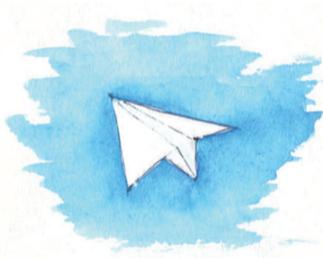
神戸市のために、神戸市民のために、私に何ができるかを常に問い続け、自らの体験を踏まえた現場第一主義で「住み続けたい神戸」を作りたいという想いで政策提案を続けてきました。

市民の声、
家庭の声を
市政に

住み続けたい
まちづくり

若者に選ばれるまち+誰もが活躍するまち

家庭と地域のちからを神戸の未来へ



子育て世帯の経済的負担の軽減や、一人ひとりの習熟度に
応じたよりきめ細やかな学習指
導の充実などは、「若者に選ば
れるまち」という観点からも大
変重要です。また、安心・安全な

まちづくりを進め、子どもたちを見守り育ててくださっている
地域力のある神戸は、「誰もが活躍するまち」そのものです。
家庭での信念をもった子育てと、その家庭を取り巻く地域の
力が、家庭の教育力を助け、社会をより豊かにしていく推進力
となるに違いありません。

がんとともに生きる

がんは、1981年以来国民の
死亡原因の第1位であり、生涯
のうちに約2人に1人はがんに
かかると推計され、3人に1人が
命を失っている「国民病」といえ
ますが、多くのがんは早期発見、
早期治療によって治る時代がきています。



乳がん検診の受診を呼びかけるピンクリボン運動を推進
し、乳がんだけでなく全てのがんの検診率向上を目指しま
しょう。自らの問題としてがんと向き合い、がんとともに生き
ていきます。

「真の国際人」を育てる

歴史的に多くの外国人も生活される神戸
は、多文化共生、多宗教共生と呼んでもい
い多様性を認めあう土壌の育まれているま
ちです。外国にルーツをもつ子どもたちだ
けでなく、国際結婚の増加など、日本国籍を
有する日本語指導が必要な子どもたちも増
えてきています。家族皆がよき神戸市民とし
て学び、働き、納税する生活者として社会で
共生していくためには、親も子も日本語の
習得は欠かせません。

神戸は「真の国際人」を育てる土壌を
持った都市です。



私は駐在員家族としてアメリカで6年間
生活をし、子どもたち3人を現地の幼稚園、
小学校に通わせました。私たち夫婦が一番
大切だと考え、周囲が英語だけの環境の中
で家庭において努力したのは、子どもたち
を「日本人として」育てることでした。日本
語を自由に聴き話し、日本文化を理解し、
しっかりと日本語で考えることができなけれ
ば、誇りを持った日本人として育ちません。
誇りを持った日本人として育たなければ「真
の国際人」になることはできないと考えて
います。

こうべ市民連合議員団

平木 ひろみ

編集・発行 / こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161

<http://www.hirakihiromi.com>

facebook



実現した平木ひろみの提案

- ヘルプマークの導入
- 市内のWIFIスポット整備
- ごみ収集のあり方の見直し
- 「やさしい日本語」を使った情報発信の推進
- ポートアイランドへのアクセス向上
- シティループのサービス充実
- 統一したデザインの多言語案内板への変更
- 市章山など山麓電飾の省エネ化

神戸経済の活性化

- 時代を見据えた国際戦略の再構築
- 人材を呼び込む新たな誘致策
- 都心・ウォーターフロントの魅力再生
- 医療産業都市における企業集積と研究成果の産業化



観光・産業振興

- 一人歩きできる市内案内表示整備
- 「光の都こうべ」を活かした滞在型観光の推進
- ナイトタイムエコノミーの活性化



市民福祉

- WHO神戸センターと協働した認知症対策の推進
- ワークライフバランスの実現
- しあわせの村のステップアップ



教育

- 小学校英語必修化に伴う人材確保
- 日本語指導の必要な児童生徒への支援体制充実
- スマホの適正利用についての啓発



まちづくり

- 神戸の顔としての都心三宮再整備の推進
- ポートアイランドの活性化と交通施策
- 都心の総合交通体系の見直し



安全の確保

- 都心での帰宅困難者対策
- 密集市街地の安全確保
- 防災福祉コミュニティとの連携
- 津波・浸水対策の徹底



ヘルプマークの導入

ヘルプマークは縦8.5cm、横5.3cmの長方形の樹脂製のプレートで、赤地に白で十字とハートがデザインされており、周囲の人に電車やバスの座席を譲る、駅や商業施設で困っていたら声をかける、災害時に避難を支援することなどを呼びかけるもので、助けを必要としていることや支援の気持ちを表すためにつけるものです。カードの裏面は、「私が手伝ってほしいこと」を自由に記入できるようになっています。障害者手帳の有無にかかわらず、導入自治体の福祉担当窓口などで該当する希望者に無償で配布されています。2017年7月にJIS改正で規格に追加されたことを契機に神戸市でも導入すべきだと提案し、2018年4月から市内各区役所で無料で配布されています。



統一感のあるデザインで整えられ、誰でも一人歩きできるまち、人が集まる魅力にあふれた活気あるまち、それは市民にとっても住み続けたいまちであるはずですよ。私は、そんな素敵な神戸のまちで、ずっと暮らし続けていきたいと願っています。



市政報告 平成29年度決算及び 関連議案について

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適当な給与支給額約2921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審議となっております。



今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

ご案内 神戸市議員 永江一之 市政報告会を開催します!!

第9回 市政報告会

- 日時: 2月9日(土) 午後2時~
- 場所: 灘区民ホール 1階会議室 (神戸市灘区岸地通1丁目1-1)

第10回 拡大市政報告会

- 日時: 3月15日(金) 午後7時~
- 場所: 六甲勤労市民センター 5階大会議室 (灘区深田町4-1-39メイン六甲)

●ながえかずゆきプロフィール●昭和50年神戸生まれ神戸育ち●元衆議院議員永江一仁の長男、祖父は第9代農林水産大臣永江一夫●地元神戸の小中学校~県立舞子高校~大阪芸術大学映像学科卒●衆議院議員泉房穂(現明石市長)公設秘書~民主党兵庫県第2区総支部向山好一支部長秘書~衆議院議員岡田康裕(現加古川市長)公設秘書~党県運動務●家族:妻・長男(11才) <http://nagaekazuyuki.com>

日ごろお困りのことや地域での問題など、お気軽にご相談ください。

こうべ市民連合議員団 神戸市議員永江一之事務所
〒657-0831 神戸市水道筋1丁目36-6 TEL:078-806-7577 FAX:078-806-7578



こうべ市民連合議員団市会ニュース

前に進め!! 神戸の街づくり。 神戸市議員 ながえ かずゆき 永江一之



編集・発行/こうべ市民連合議員団 <http://kobe-shiminrengo.jp>
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

ごあいさつ 未来を生きる子どもたちのために。

「今の豊かで平和な社会を次の世代に責任を持って引き継ぎたい」その思いで神戸市議員として1期4年間、精一杯活動してまいりました。

この間、神戸市の人口もいよいよ減少に転じています。人口減少、少子超高齢化社会にあって、これまでの価値観のまま神戸の街づくりを進めても、決して市民生活の質の向上には繋がらないと、つくづく実感しています。

また、近年は日本中で自然災害が多発し、昨年は神戸市でも特に大雨、台風により土砂災害など様々な被害が発生してしまいました。改めて自然災害への備えについて多くの課題が見つかったのではないかと感じています。

そのような社会情勢のなか、神戸の街づくりについても、これまで以上に政治の果たすべき役割が重

要となります。しかし残念ながら、政務活動費の不正使用問題など政治家の不祥事が後を絶たず、信頼が損なわれています。

これらの目の前の問題から目を背けることなく、未来を生きる子どもたちのためにも、神戸の街づくりを前に進めていかなければなりません。

これからも住みよい街神戸の更なる発展と、市民の皆様の安心安全を守るために、全身全霊をかけて活動してまいります。



神戸市議員 永江一之

市政報告 子どもを虐待から守る条例(案)を議会に提出しました!!

児童虐待の相談や通報件数が増加の一途をたどっています。子どもへの虐待をなくしていくためには、虐待の未然防止、早期発見、早期対応、対応後の子ども・保護者等への支援を強化し充実させていく必要があります。

そこで、与党3会派で子どもを虐待から守る条例について検討を重ね、政策提案条例案(議員提出第31号議案 神戸市子どもを虐待から守る条例の件)

を11月28日の本会議に提出いたしました。私自身、検討会の副座長としてこの条例案に関わらせていただいております。

今後、文教子ども委員会にて審査が行われ、平成31年度の第1回定例会で議決される予定です。



本会議での一般質問 | 永江一之

神戸市議員

12月7日、市会議員となり3度目の一般質問にたたせていただきました。議員となり4年がたとうとしています。この4年間の活動を通じ一貫して感じてきた神戸の課題について改めて質問いたしました。

1. 神戸市内の観光施策について

質問のポイント

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた接続バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。



2. 神戸市都市空間向上計画について

質問のポイント

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年という人の人生では二世代前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあつという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問いたしました。

3. 災害に強いまちづくりについて

質問のポイント

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中で的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問いたしました。



神戸の抱える課題について

人口減少、少子高齢化社会の進展

神戸市でもいよいよ3年連続して人口が減少しており、高齢化率も増加しています。世帯数は増加していることからわかるに核家族化が進み、地域コミュニティが果たすべき機能が弱体化しています。



また、老朽危険家屋に代表される空家・空き地問題、オールドニュータウンの問題など都市のスポンジ化による荒廃が懸念されています。そして、次の神戸を担うべき若者・子育て世代の多くが首都圏に転出超過している状態が続いています。

結婚・出産・子育て施策のさらなる充実や若者にとって魅力的な雇用の創出、文化・芸術・スポーツなどの都市としての魅力を磨くことも必要です。

温暖化による台風の大型化など、自然災害への備え

神戸の場合、急傾斜地が多く存在することから、例えば灘区では阪急より北側の広い範囲が土砂災害警戒区域となります。市民の生命・財産を守る施策の実現を加速しなければなりません。

格差社会への対応

家庭の経済格差がそのまま、子ども達の教育格差や健康格差につながり、次世代にそのまま経済格差が引き継がれるという固定化が進んでいます。そのような市民生活のなかでは、自殺、児童虐待、DV、性暴力などの問題が顕著化していきます。「貧困の世代間連鎖」を断ち切る政策を推進し、地域社会が子どもの成長を見守れる社会を実現しなければなりません。

これらの課題に正面から向き合うとともに、悲観するだけではなく、夢を語りつつ市民の皆様とともに神戸の街づくりを前に進めていかなければなりません。

BE KOBE 「神戸の魅力は人である」を合言葉に



神戸市の取り組み

「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」をテーマに、未来に向けて魅力あふれる都市として発展することを旨とした街づくりを進めています。



神戸の都心を大胆に活性化していくため、市民のみなさんの想いを盛り込んだ、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]を取りまとめ、三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しています。



子育て応援サイト「ママフレ」

子育てに関する行政サービスを「届出」、「健康」、「あかね」、「あずける」、「学ぶ・出かける」、「相談する」、「病院・救急」のカテゴリに分類し、希望する情報にたどり着きやすいよう紹介しているサイトです。
<https://kobe-city.mamafre.jp/>

SONAE to U? 防災ポータルサイト
K O B E 防 災 ポ ー タ ル サ イ ト そなえとう 検索

6月に全戸配布された「くらしの防災ガイド」



神戸市がユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン都市」認定10周年を迎えたことを記念して、東京以外で初めてとなる大規模グッド

デザイン賞展「GOOD DESIGN AWARD神戸展」が、2018年11月23日(金・祝)から12月24日(月・振休)まで、神戸ファッション美術館にて開催されました。

～神戸市の近年の受賞歴～
「KOBEパーレット」(2018年)「断層用鋼管」(2017年)「CREATIVE WORKSHOP ちびっこうべ」

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世帯前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。



神戸市会議員
ながえ かずゆき

灘区をもっと住みよい街へ。

永江一之



こうべ市民連合議員団NEWS

■編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

前に進め!! 神戸の街づくり



12月7日、市会議員となり3度目の一般質問にたたせていただきました。議員となり1期4年がたとうとしていきます。この4年間の活動を通じ一貫して感じてきた神戸の課題について改めて質問いたしました。

「人口減少下でのまちづくり」「多発する自然災害への備え」「都市の発展と市民生活の質の向上」

これらの課題に正面から向き合うとともに、悲観するだけではなく、未来を生きる子供たちのためにも神戸の街づくりを前に進めていかなければなりません。

これからもBE KOBE「神戸の魅力は人である」を合言葉に、妬みや怒りに訴えるのではなく夢を語りつつ理性と良識に訴えることで、市民の皆様とともに神戸の街づくりを前に進めてまいります。

～デザイン都市 神戸のとりくみ!～



神戸市がユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン都市」認定10周年を迎えたことを記念して、東京以外で初めてとなる大規模グッドデザイン賞展「GOOD DESIGN AWARD 神戸展」が、2018年11月23日(金・祝)から12月24日(月・振休)まで、神戸ファッション美術館にて開催されました。



《グッドデザイン賞とは》

1957年に創設された「グッドデザイン賞」は、長年にわたり、私たちのライフスタイルと社会の変化に寄り添いながら「よいデザイン」を選び続けてきた、日本を代表するデザイン賞です。国内外の多くの企業や団体が参加し、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。

<神戸市の近年の受賞歴>

「KOBEPARKレット」(2018年) 「断層用鋼管」 「CREATIVE WORKSHOP ちびっこうべ」(2017年)



～市政相談～ 日ごろお困りのことや地域での問題など、お気軽にご相談ください!

こうべ市民連合議員団 灘区支部 永江一之事務所

〒657-0831 神戸市灘区水道筋1-36-6 TEL:078-806-7577 FAX:078-806-7578
E-mail : nagae8565@gmail.com HP : http://nagaekazuyuki.com

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行/こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員 (垂水区)

障害者就労について

Q: 今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A: 平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員 (灘区)

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。

新春号
市会報告

神戸市会議員

岩田よしあき



〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

第2回 定例市会報告 (期間：11月28日～12月7日)

2019年 スポーツイヤー始動

神戸市では今年ラグビーワールドカップ2019が開催されます。また2020年にオリンピック・パラリンピック、2021年に関西ワールドマスターズゲームと連続して開催されることから、神戸市民にスポーツの魅力を発信し、機運の醸成に努めます。

【決算認定について】

9月の定例市会では「ヤミ専従」問題により、職員の給与支出が明確ではなかったため決算を承認しませんでした。

神戸市は第三者委員会を設置し、11月議会で中間報告が出されました。また、12月中に提出される最終報告を元に不適切な給与支給の返還を求め、責任の所在を明らかにする旨が示されたため、平成29年度決算は附帯決議を付して承認しました。

来年度予算要望を
会派として冊子にま
とめ、市長に直接要
望しました。



(会派予算要望風景)

【チェックオフ廃止条例について】

他会派からチェックオフ（給料から組合費の天引き）を廃止する条例案が提出されました。

「ヤミ専従問題」と「チェック・オフ」とは全く別次元の問題であるにも関わらず天引きを廃止するのは、職員団体の弱体化を招き、憲法第28条の趣旨に反する可能性等も考えられます。

私たち会派は廃案にすべきと訴えました。

【文教子ども委員会分】

議員より提出した議案

「神戸市子どもを虐待から守る条例」

関係機関等と連携を強化し、虐待の未然防止、早期発見、及び支援の充実に努め、地域の力で子どもと家庭を支える社会を推進する等の内容になっています。



報 告

（仮称）新西図書館基本計画（案）について

西神中央のセンターエリアに文化・芸術ホールと一体整備する（仮称）新西図書館について、コンセプトや基本方針等を定めるもので「集い、共に学び、地域をつなぐ図書館」に加え、今後、専門家や障害のある方の意見を追加するものです。

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」 について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世帯前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。

神戸市議員

人見 誠

ひとみまこと

ひとみ輝く夢と希望の街に!

市会ニュース 第31号

北区

編集・発行：こうべ市民連合議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161



2019年がスタートしました!

いま、神戸では都心・三宮の再整備など、いろいろな新しい取り組みが始まっています。このたくさんの新しい芽を育て、確実に実らせるためには、実のある政策議論をして、精練された施策が展開される必要があります。

私はこれまでみなさんのご意見やご要望に誠実にお応えし、いまの神戸や政治に必要と思うことを率直に議会でぶつけてきました。

これからも誠実に政策提案・実現に取り組み、神戸の魅力を活かしたまちづくりと情報発信に、全力でがんばってまいります。

トピックス

事業用太陽光パネルの設置を規制する条例が成立しました!

太陽光発電は、適正な設置・管理が全国的な課題となっており、神戸でも7月の豪雨で、斜面に設置された太陽光パネルが崩落をし、山陽新幹線が運休するなどの問題が発生しています。

そこで、**事業用太陽光パネルの設置を規制する条例**が検討され、11月議会で成立しました。

規制の対象になるのは、**地上に設置する10Kw以上の事業用太陽光パネル**です。

それらのパネルは、災害危険区域や緑地保存区域など**防災上・自然環境保全**の観点から**不適切**な地域では設置が**禁止**されます。

また、住居地域や鉄道の敷地に隣接する一定の区域など、

防災上、住環境、交通インフラ、自然環境等に特に大きな**影響を及ぼす**可能性のある地域では、設置に**許可**が必要になり、一定の**施設基準を満たす必要**があります。

それ以外の地域では事前に届出が必要になります。

そして、条例施行(平成31年7月1日)前にすでに設置されているものや設置工事に着手しているものを含めて、地上に設置する10Kw以上の事業用太陽光パネルの**すべて事業者**に、毎年度、**施設の維持管理状況を報告する義務**が課されます。

また、必要に応じ、立入調査、指導、助言・勧告、氏名公表などが行われます。

このような規制をする条例の制定は政令市の中で神戸市が初めてです。

私は議会で、既存のパネルも含めて、条例に沿った適正な設置・管理がなされるべきと主張してきました。今後の運用に注目していきたいと思います。

人見 誠 プロフィール

- 昭和49年2月18日生
- 一児の父
- 北五葉小、鈴蘭台中、兵庫高校卒業
- 立命館大学法学部法律学科卒業
- 立命館大学大学院法学研究科修士課程修了
- 社会保険労務士、行政書士
- 現在、福祉環境委員会、大都市行財政制度に関する特別委員会に所属
- ブログ <http://blog.goo.ne.jp/hitomi-makoto>



人見まこと
オフィシャル
WEBサイト

<http://kobe-hitomi.jp>

ご意見・ご要望をお寄せ下さい!

北区鈴蘭台支部 人見 誠 事務所

神戸市北区南五葉1-3-27 1F

TEL 078-595-5195

FAX 078-595-5197

E-mail kobe.hitomi@gmail.com

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」 について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。

また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。



2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。

川原田弘子NEWS

編集発行 こうべ市民連合議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161



須磨離宮公園の「茜離宮」

11月議会が開催され、継続されていたH29年度決算の認否について、付帯決議を付して承認されました。11月29日、市庁舎2・3号館の建て替えに伴い、東遊園地に仮移転される花時計の「時計を止める」セレモニーが開催され、止まる瞬間を見届けてきました、仮移転前の最後の図案は、花時計植え替え500回を記念して公募で選ばれたもので須磨離宮公園に寄贈された新種のバラ「茜離宮」がデザインされています。



500回記念で佳作に選ばれた福岡市の中辻幸子さんのデザイン

いじめ・不登校について

文教子ども委員会において、教育委員会より「平成29年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」報告があり、質疑を行いました。

1 いじめについて

表1 H29年度 いじめの認知件数

	神戸市の発生件数(件)	1000人あたりの発生件数(件)			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	3,183	41.9	49	29.1	—
中学校	1,599	45.5	25	28.7	—
高等学校	16	2.5	4.9	4.8	—
特別支援学校	4	3.6	14.1	22.7	—
合計	4,802	40.5	33.9	24	40

○いじめの解消状況……「いじめが解消している」97.1% (全国85.5% 県89.0% 指定都市88.6%)

○今後の対応……チームとして対応できるよう報告・連絡・相談を密にする。指導三原則「するをゆるさず されるを責めず 第三者なし」に基づき、積極的な認知に努め、未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な対応の充実を図り、「いじめ防止対策推進法」の教職員への研修を継続していく。

2 長期欠席(不登校)について

表2 H29年度 長期欠席の状況

	神戸市の児童生徒数(人)	病気	経済的理由	不登校	その他	長欠計
小学校	76,011	347	0	397	131	875
中学校	35,167	429	0	1,334	62	1,825
高等学校	6,321	43	20	75	64	202
合計	117,499	819	20	1,806	257	2,902

○今後の対応……小中学校で不登校生徒数が増加しているため、不登校の未然防止や家庭支援を一層図ると共に、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーとの連携、生徒指導関係教員への研修等を通じた生徒指導体制のより一層の充実を図る。

表3 全児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合

	神戸市	全国	兵庫県
小学校	0.52	0.55	0.52
中学校	3.79	3.38	3.63
合計	1.56	1.51	1.37

質問：いじめの発生件数が多く、解消している割合が97%と高いが、本当に97%解決していますか？

答弁：生徒間で解決できる問題も積極的に認知したため解消率も上がっている。解消できていない問題があることが重要と認識している。

要望：最近は、LINEなどネットのいじめが多いと聞きます。ネットに対応できる専門家の人を置いて先生が相談しやすいようにしていただきたい。

質問：高校の経済的な理由による20人は、支援ができていますか？

答弁：区役所につなぐなど対応している。

質問：不登校の対応はくすのき教室とということですが、教育機会の確保の法律もできており、フリースクールとの連携も検討するべきでは？

答弁：フリースクールとの協議の会議を開いたところ。出席認定しながらどういう支援ができるか今後検討していく。

◆川原田弘子事務所連絡先◆
e-mail: happy@hiroko-club.com

〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202 TEL&FAX 078-709-8998
URL: http://www.hiroko-club.com 携帯 090-1956-5565

ご相談はこちらに!

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世帯前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。



川内 きのよなお

神戸市議員(垂水区)

市会報告

平成三〇年度第二回定例会が閉会しました。神戸市の財政状況は、ほぼ震災前の状況に戻ってきました。しかし、これから益々深刻化してくる超高齢社会、市民ニーズの多様化等を考えると、決して油断はできません。

また、阪神淡路大震災から四半世紀を迎えようとしている今、震災の教訓を活かした防災面での取り組みにも力を入れていかなければなりません。

これからも議会の立場で、しっかり意見反映して参ります。

平成三十年
第二回定例会を終えて



本会議場にて

会派で久元市長に予算要望

平成30年11月28日、久元市長に対して来年度の予算要望を行いました。



久元市長

会派全体の重点項目を述べた後、各議員からそれぞれの地域事情も含めた要望を行いました。

私は、垂水区の商大線の頂上部の渋滞対策について、「以前から要望しているが、中々前進しない。来年度はスピード感を持って取り組んで頂きたい」と要望しました。久元市長からは、「建設局に状況を確認しながら、出来るだけ早く対応できるようにしていく」とコメントがありました。

垂水区 あれこれ

垂水体育館の建替えについて

このたびの定例会で一般質問をしました。その中で、垂水体育館の問題を取り上げました。「垂水体育館は、建築から約40年が経過している。老朽化も含めて、今の時代に合わない大変使い勝手の悪い状況である。利用者の皆さまからも、苦情や提言を頂いている。建て替えを含めた検討を伺いたい」それに対して、教育長からは、「現状を精査して、前向きに検討していきたい」と答弁がありました。



今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世帯前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。



住みよい須磨の街づくりのために全力投球します!!

神戸市会 NEWS VOL. 80

2019.新春号

公平・公正な社会をめざします

大井としひろ

こうべ市民連合議員団
神戸市会議員(須磨区)
企業建設委員会委員長



■編集・発行：こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 / TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

須磨区の皆様、いつもお世話になります。
平成最後の年を迎えましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
私も今期は、企業建設委員会委員長に就任し、水道局・交通局・建設局関係の問題を中心に働く仲間の代表として民間人の視点で、「神戸市政・議会の改革」に取り組んでまいりたいと決意を新たにしている所です。今年で朝の街頭活動も17年目を迎えました。たくさんのご意見、ご要望を頂きありがとうございます。4000件近い市民相談を頂いています。一件、一件、誠実にお応えしています。街かどで見かけましたらお気軽に「おーい」と、お声掛け頂き身近な問題でも結構ですので、お気軽にご相談ください。

《11月30日・企業建設委員会報告》

建設局関係では、予算第28号議案・平成30年度神戸市一般会計補正予算（建設局関係分）の審議及び、須磨海浜水族園・海浜公園の再整備に係る基本的な考え方（素案）について報告があり、質疑を行いました。

また交通局・水道局関係では、「市交通局職員・水道局職員の労働組合の活動における職務専念義務違反に関する調査委員会における調査等の状況について報告があり、質疑が行われました。



(企業建設委員会委員長の大井としひろ)



完走しました

《神戸マラソン2018開催》

11月18日「感謝と友情」を大会テーマに2万人のランナーが市内を駆け抜けました。



《会派予算要望風景》

来年度の予算要望書を冊子にして久元市長に手渡し、私からは須磨ニュータウンの少子高齢化・人口減少対策について要望しました。



■ ■ ■ 詳細は、大井としひろ公式ホームページをご覧ください ■ ■ ■ 検索 大井としひろ

市政についてのご意見・ご要望をお聞かせください。

何事によらずお気軽にご相談下さい。

神戸市会議員 **大井としひろ**

事務所：神戸市須磨区飛松町1丁目4番9号 吉川ビル1階
TEL 078-735-1103

自 宅：〒654-0132 神戸市須磨区多井畑南町22-15
TEL・FAX 078-743-6155

■メールアドレス ooi@kobe-001.com
■公式ホームページ http://kobe-001.com
■おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi

大井としひろの街頭活動

朝の街頭活動を行っています。身近な問題でもなんでも結構です。お気軽にお声掛けください。

午前6時30分～8時30分

- 月曜日…地下鉄名谷駅
- 水曜日…地下鉄妙法寺駅
- 金曜日…JR須磨駅

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世帯前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。



子どもたちの未来と明日の北区のために 神戸市会議員（北区）

池田りんたろう News



〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

飛翔 こうべ

2019年。「住みよい北区のまちづくり」に向けて、新たな決意のもと新年を迎えました。本年も神戸市政に対するご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

2019年度予算要望を市長に行いました

住みよい北区にするために、交通網の整備や街の魅力づくり、教育関係の充実は重要です。課題解決を進めるために神戸市に要望した内容は次の通りです。

くらし関係の要望

- *北区役所・兵庫商業高校跡地について、街の魅力づくり、賑わいづくりに役立つような活用計画。
- *北図書館を拡張整備し、蔵書数を増やす。



交通関係の要望

- *地域の活性化と賑わいづくりに向けた駅前整備。

- 神戸電鉄西鈴蘭台駅前再整備
- 北鈴蘭台駅ロータリー整備

西鈴蘭台駅前



- *北神急行電鉄の料金低減化と高齢者割引制度の創設。

- *神戸電鉄粟生線の上下分離方式の検討。



北神急行電鉄谷上駅

道路関係の要望

- *428号線（有馬口～五社）（日の峰5～箕谷）の拡幅整備工事の早期事業化とトンネル化も含めた検討。



有馬口～五社



日の峰5～箕谷

- *生活道路である六甲トンネル有料道路の早期無料化を実現。



六甲トンネル有料道路

教育関係の要望

- *神戸電鉄も対象交通機関に含めた上で、通学費助成制度を拡充。
- *北神地区に高等学校を新設。

市政のご相談はお気軽に

池田りんたろう 事務所

〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1-6
TEL 078-982-1177
FAX 078-981-1801

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」 について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。



また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。

2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世帯前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。



市会報告 神戸市議会NEWS

神戸市会議員（垂水区）

藤原 武光

ふれあいの垂水宣言

人とひとが支えあう社会を

事務所／神戸市垂水区舞多間西5-2-63
TEL・FAX 078-783-9806

こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

11月議会（開催期間：11月28日から12月7日）

今市会では、継続されていた平成29年度決算認定と「ヤミ専従」問題の第三者委員会からの中間報告及び「チェック・オフ廃止条例」等について議論が交わされた。

平成29年度決算附帯決議を付けて認定

平成29年度決算は、「ヤミ専従」問題により不適正な給与支払の究明が必要とされ、決算認定が先延ばしになっていた。

11月市会で平成29年度の「ヤミ専従」に係る中間報告を受け、改めて附帯決議を付けて承認した。

「ヤミ専従」問題の第三者委員会より中間報告

11月22日、第三者委員会から「神戸市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反に関する調査委員会による中間報告等について」報告があった。

内容は、(1) 離籍率に関する中間報告(2) 「(過員配置)(虚偽回答)(法令上の上限を超える在籍専従許可)(専従休職者の復職時の昇給及び昇格並びに退職手当の過払い)」と多岐に渡った。

報告では「在籍専従の法令違反の批判を避けるため、神戸市主導で退職派遣を用いる等、当

局の強い意向が反映されるなど神戸市の責任は重い」とされた。「ヤミ専従」は労使癒着でなければ出来ないことであり、1980年頃から法令違反が常態化していたことが判明した。



「チェック・オフ廃止条例」問題について

社会通念化している「給与から組合費の天引き、いわゆるチェック・オフ」制度をまったく別次元の問題である「ヤミ専従」と絡め、神戸市職員労働組合だけ懲罰的に廃止しようとするものである。

組合の当然の権利と言える「チェック・オフ」の廃止は、ILOや憲法及び地方公務員法の趣旨に反する行為であり、我が会派は反対の立場で議論に望んできた。しかし結論を先延ばしされ「継続審査」となったが、まだ多くの懸案課題がありそのことにさらに取り組むこととする。

今回可決された主な条例案など

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。

また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。



2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。

神戸市会議員（中央区）

平木ひろみ



市会報告

✉ hirakihp@yahoo.co.jp
 URL http://www.hirakihiromi.com
 携帯 090-6208-1313

こうべ市民連合議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

*** 「看取りの質」が問われる時代 ***

2018年度診療報酬改定の中に「国民の希望に応じた看取りの推進」が初めて盛り込まれ、介護報酬改定でも「本人の希望する場所での、その状態に応じた医療・介護と看取りの実施や、関係者間の円滑な情報共有



とそれを踏まえた対応を推進」と明示されました。年間死亡者数は2015年に129万人だったものが、2040年には167万人と3割近く増えると推計されています。2015年の死亡者のうち76.6%は病院または診療所での死亡だったとされており、現在の診療提供体制のままでは今後対応しきれないことが予想されます。

私自身もこの秋に叔父を亡くし実際に家族として看取りを経験しました。人生の終末期にどのような治療をしてほしいのか、何はしたくないのかについて、以前から本人が話していた気持ち、リビングウィルに書かれた内容を本人の意識がはっきりしている時に叔母と一緒に確認し、医師、看護師の皆さんと何度も話をさせていただきました。刻々と変わっていく病状を医師から説明を受けたうえで、本人が大事にしてきた気持ちを家族から医師に伝えることで、納得いく治療を受け、これ以上の治療は回復につながらないと説明を受けてからは、痛みの緩和を中心としたケアをしていただき、穏やかに最期を迎えることができました。

身近な叔父の死に臨み、両親とも終末期の迎え方について話し合う機会を得ました。死をどう迎えるかについて家族で前もって話をするのは縁起の悪いことではなく、自分の希望をちゃんと伝えておくことで納得できる最期のあり方を共有できることは、質の高い看取りにつながると思います。

*** 日本で生活する外国人の日本語習得 ***

母国を離れて異国で生活するというのは、家族にとって大変なことです。生活する国の言語を習得することができれば生活の質が向上することは間違いありません。

神戸市では、来日すぐの外国人児童生徒に、母国語を理解するサポーターが教室で寄り添っています。子どもたちの学ぶ権利を保障するために、まず生活に最低限必要な「生活日本語」を習得し、勉強に必要な「学習日本語」までつなぐ必要があります。児童生徒本位に「生活日本語」から「学習日本語」まで日本語で日本語指導をする体系を整えるべきだと、自らの経験を踏まえ、何年にもわたって提案し続け、支援ボランティアが拡充されました。しかし昨今、急激に外国人児童生徒が増えるような地域があり、支援体制が追い付かない状況もあるようですから、現状を踏まえた対応が必要になります。

学習する子どもたちだけではなく、ご両親の日本語習得は日常生活を豊かにするために必要不可欠です。

神戸市においては、神戸国際協力交流センターの「日本語文化学習支援事業」として、月平均316組の方が熱心に勉強をされています。この事業は、ボランティアで日本語を指導する日本人の方が成人の外国人学習者とペアを組み6か月にわたって1回2時間6か月間勉強するものです。ボランティア登録者は約750名、学習申込は今年4月から毎月65名に枠を増やして対応しています。無料で個人の能力に合わせたマンツーマン指導を受けることができるので大変好評です。一人でも多くの必要とする方に利用していただければと思います。



* 今回可決された主な条例案など *

- 第76号議案 神戸高齢者総合ケアセンター条例を廃止する条例の件
- 第77号議案 神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例の件
- 第78号議案 神戸市こべっこあそびひろば条例の件
- 第80号議案 神戸市太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例の件

「こべっこあそびひろば」について

こべっこランドにあるプレイルームのような子どもたちの遊び場の機能を、分散した地域に設置していくものです。今回は、北区藤原台のエコール・リラに設置されます。

